

令和 4 年度政務活動費調査研究報告書

提出日 4・10・6

事業名	研究研修		
会派名	公明党	報告者	山田己智恵 (☎ 274 -8463)
参加者	山田己智恵		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研修 <input type="checkbox"/> ②視察 <input type="checkbox"/> ③広聴 <input type="checkbox"/> ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	① 10月3日(月)～ 10月4日(火)	会場 全国市町村国際文化研究所 研修名 「トップマネージメントセミナー～災害 や感染症などへの対応と質の高い地域社会の構 築に向けて～」
	②	
	③	

目的
 地震や集中豪雨、また感染症等想定しなかった災害が全国で起こっています。本市でも想定外を想定し、それら災害に強い街づくりを、ハード面、ソフト面両方から考え講じていく必要があると考え、受講しました。

- 内容**
- 大規模災害に備えて-想定外は起きる
元復興庁事務次官 市町村中央研究所学長 [REDACTED]
 - 災害に強いまちづくり
関西大学社会安全学部 特別任命教授 [REDACTED]
 - 行政の危機管理～相次ぐ災難への対応とピンチをチャンスに変えるまちづくり～
福島県福島市長 [REDACTED]
 - ウェルビーイングな働き方と日本の未来
株式会社 YeeY 共同創業者/代表取締役 [REDACTED]

成果
 実際に大災害をいくつも乗り越えてこられた福島市長や専門家の先生方の講演から、想定外を想定し最悪の状況を想定しての準備、予測を踏まえた情報発出が重要なこと。また、災害そのものによる被害だけでなく市民の意識を含めた社会現象により大きな被害になった災害が多く、事前の準備、自助・共助・公助の連携の必要さ等を学びました。
 今後、議会において、これまでの経験を踏まえた想定外への準備など提案していきたいと思います。

事業費
 36,101 円

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

令和 4 年度政務活動費調査研究報告書

提出日 4・11・4

事業名	行政視察		
会派名	公明党	報告者	山田己智恵 (☎ 046-274-8463)
参加者	山田己智恵		
区分	<input type="checkbox"/> ①研修 <input checked="" type="checkbox"/> ②視察 <input type="checkbox"/> ③広聴 <input type="checkbox"/> ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	10月26日(水)	八王子市立高尾山学園
	①	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	本市では不登校の児童生徒が社会的自立できることを目的に、本年4月不登校特例校を開設。 不登校特例校開設のパイオニア的存在である高尾山学園で18年間積み上げてきた取組みと成果を学び、本市の教育に活かしたいと考え視察に伺った。	
内容	少人数制で更に1教室に補助員を入れ3人～4人の教員が学習をサポートしており、充実した支援体制で児童生徒に寄り添っている。 授業がつまらない時は自由に抜けてプレイルームに行くこともでき、スクールカウンセラーが常駐する相談室で懇談することもでき、児童生徒の居場所がある。 様々な理由で不登校になった子供たちに信頼できる友人や大人を得て、進学率は平均95%以上の実績がある	
成果等 (市に活かせること等)	児童生徒の状況に応じて心の安定を図りながら適切な学習支援による学力の向上と集団体験的な活動により社会性を養える工夫と取り組みは参考にできるとよいと思う。 また、支援のための教員以外の体制も補助教員や心理相談員、校医として精神科の医師が派遣されており手厚いことも子ども達の安心できる環境となっていると考える。	
事業費	3,680 円 (旅費 1,680 円、弁当代 2,000 円)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

令和4年度政務活動費調査研究報告書

提出日 令和4・11・22

事業名	日本防災士会地方議員連絡会 研修会 in 西宮市		
会派名	公明党	報告者	金原忠博 (☎293-8585)
参加者	金原 忠博		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研修 <input type="checkbox"/> ②視察 <input type="checkbox"/> ③広聴 <input type="checkbox"/> ④その他()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	11月17日(木) 午後1時~5時	会場:西宮市危機管理センター (西宮市六湛町10-3) 主催:特定非営利活動法人日本防止会地方議員連絡会
	②	
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	<p>自然の激甚化と社会の脆弱化の中で、災害が大規模化し、激甚化している。加えて感染症などが追い打ちする状況である。</p> <p>自治体はどのように備え、いかに対処するのか、データ等を踏まえ、教訓と課題を検討し、本市の防災対策の一層の強化を探っていく。</p>	
内容	<p>一、危機管理センターを見学(屋上から地下まで)</p> <p>二、地方自治体と防災士議員の役割</p> <p>三、災害への備え(消防局から)</p> <p>四、災害への備え(危機管理室から)</p> <p>五、ICTによる危機管理組織連携</p>	
成果等 (市に活かせること等)	<p>防災対策によって如何に減災することができるか、防災情報システムで、常に最新の情報を管理して、市民の皆様へ「命を守る」情報を発信する。この研修で得た情報システムをヒントに本市の防災対策について政策提案していきたい。</p>	
事業費	29,606 円 (別添 旅費計算書、領収書等 参照)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

令和4年度政務活動費調査研究報告書

提出日 令和4・11・28

事業名	日本防災士会地方議員連絡会 研修会 in いずも		
会派名	公明党	報告者	金原忠博 (☎293-8585)
参加者	金原 忠博		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研修 <input type="checkbox"/> ②視察 <input type="checkbox"/> ③広聴 <input type="checkbox"/> ④その他()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	11月24日(木) 午後1時～5時	会場:海上自衛隊横須賀基地 (横須賀市西逸見町1丁目無番地) 主催:特定非営利活動法人日本防止会地方議員連絡会
	②	
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	2010年(平成22年)7月20日、「災害対応準備及び災害救援の共同活動に関する大和市と米海軍厚木航空施設司令部との覚書」を交わした。この覚書により、本市の防災体制が充実することとなった。 更に、2011年(平成23年)3月に発生した東日本における大地震などに端を発し、市民の防災への関心の高まり、災害と自衛隊、米軍等との関わりなどが注目され、災害対策等に関し、本市と厚木基地との間でも様々な取り組みが進められてきている。 災害が大規模化、激甚化している。さらなる連携が必要と考える。	
内容	一、護衛艦「いずも」艦内見学 二、講和「防災と安全保障」 ①海上防衛力の役割②海上自衛隊戦略指針③海上自衛隊の災害対応 三、護衛艦「いずも」 ①いずもの概要②いずもの能力③行動実績等④艦内生活	
成果等 (市に活かせること等)	災害時には、海上自衛隊厚木基地は、航空集団司令部第4航空群、護衛艦隊司令部第4護衛隊が、大和市に関わる協議を進められている。 海上自衛隊の阪神淡路大震災、東北大震災、新潟地震、熊本地震等の発災直後からの米軍との連携、中核的役割を果たした、災害支援活動に注目し、人命救助や避難所支援能力に期待できる。	
事業費	1,402円 (別添 旅費計算書、領収書等 参照)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること